



希望ヶ丘通信

社会医療法人 高見徳風会 広報誌



1月号

vol.69

発行日：2018.1.15

- △お願い▽
- 初めて受診される方も予約をお願いしております。
 - 新患予約、予約変更など予約に関するお電話は平日13時30分からお願いたします。
 - 初診の方はお薬手帳、書類（診断書）等をお持ちでしたら診察前に受付に提出してください。

診察日割表 H30.1~

	月	火	水	木	金	土
午前	(新) 吉成	(新) 担当医	(新) 佐藤	休診	(新) 三宅	(新) 引地 物忘れ
	日笠	修多羅 第2・第47期-1	日笠		日笠	吉成
	修多羅	吉成	引地			修多羅
	三宅	香山	高山		高山 発達外来ohana	三宅 発達外来ohana
午後	引地	引地	三宅	休診	香山	吉成
	佐藤	吉成	佐藤		石川	
	石川	石川	高山			
		福武			高山 発達外来ohana	

※新患担当

診療科目：神経精神科

休診日：木曜・日曜・祝日・その他

外来受付：午前 / 8時30分 ~ 午後 / 13時00分 ~ 15時00分

認知症と物忘れの違いは？



年をとると誰でも「物忘れ」するようになります。この「物忘れ」が、健康的な物忘れなのか、認知症による物忘れなのか、違いは何でしょう。昨日の夕食のメニューをすぐに思い出せないのは誰にでもある物忘れですが、認知症では食事をしたこと自体を忘れるという体験の記憶全体がすっぽり抜け落ちてしまいます。ご本人の行動や言葉に戸惑うことはありませんか？

「財布を置いた場所を忘れた」
「台所で電子レンジの使い方がわからなくなる」
認知症では、今まで出来ていたことが認知機能の低下によってできなくなってきます。さらに、財布が見当たらなくなると「誰かに盗まれた！」と周りの人との人間関係に影響を及ぼしてきます。このような行動や言動は認知症の進行に伴って現れてきます。物忘れが多くなったのは高齢だからしょうがないと考えたり、本人の性格やそのときの気分によるように見えるかもしれませんが、これらの背景には「認知症」という病気が関係している可能性もあります。「様子がおかしいな…」と早めに気づき適切な対応と治療を行えば症状の軽減へとつながります。

認知症を早く見つけるポイントとは？

- ・同じことを言ったり聞いたりする
- ・置き忘れやしまい忘れが目立ってきた
- ・だらしくなった
- ・時間や場所の感覚が不確かになった
- ・財布などを盗まれたという
- ・複雑なテレビドラマが理解できない
- ・蛇口、ガス栓の締め忘れ、火の用心ができなくなった
- ・物の名前が出てこなくなった
- ・以前あった関心や興味が失われた
- ・日課をしなくなった
- ・慣れた場所で道に迷った
- ・些細なことで怒りっぽくなった
- ・夜中に急に起きだして騒いだ

(国立長寿医療研究センターによる)

認知症の初期には上記のような症状がみられます。3つ以上あてはまったら医療機関などに相談してみることをおすすめします。

最近の調査では全国で400万人を超える人が認知症と認められています。認知症はきわめて身近な病気であり、誰もがなる可能性のある病気なのです。

よくあるご質問 (FAQ)

- Q. 初めてですが予約が必要ですか？
⇒ A. 必要です。お電話でも予約をお受けしています。平日（休診日：木・日・祝日）13時30分以降におかけください。
- Q. お薬が欲しいのですが診察が必要ですか？
⇒ A. 必要です。主治医、もしくは他の医師に会っていただいております。
- Q. お薬が希望で、次回の予約日までの不足を貰いたいのですが、何時頃に行けば良いですか？
⇒ A. 午前中は11時頃、午後からは16時頃であれば比較的スムーズにお呼びしています。（お薬がなくなる2~3日前を目安に来院をお願いします）



お薬の内容や、状態等によっては主治医の診察が必要な場合もございますのでご不明な点をご相談ください。ご協力お願い致します。

第6回 地域公開講座のご案内

偶数月の第4土曜日、13:30~15:00で開催をしておりました地域公開講座も、平成29年度最後の回となりました。地域の方、ご家族、興味のある方などでも受講していただけますのでお待ちしております。

日時：平成30年2月24日（土）13:30~15:00
講座内容：「心の病気を防ごう」~自分で出来るリラクソヨーガ~
講師：希望ヶ丘ホスピタル 作業療法士 北村 春奈

自分で出来るリラクソヨーガの紹介を始め、現場での経験を活かして心の病気に対する予防法や対処法などを教えていただきます。講座に参加して自分の心に響く何かを見つけてみませんか？今回は実際にリラクソヨーガの体験が出来る講座になっています。多数のご来場をお待ちしています。

※ 申込みは不要です。直接会場にお越しください。

お問合せ：就労継続支援作業所 ウィズ
TEL：0868(22)3192



「リカバリーカレッジみまさか」開校！

「リカバリー」という言葉をご存知でしょうか？「リカバリー」とは英語で「回復」を意味しますが、精神保健福祉の領域では、病気からの回復だけでなく「人間らしさや自分らしさ、自分の人生の回復」を意味します。その表現は人それぞれで、ある人にとっては病気や生活のしづらさがあっても「家族と旅行を楽しむ」ことであったり、「仕事ができる」といったものかもしれません。

リカバリーカレッジはそれを考え、感じ、学ぶ学校です。その学校は精神保健福祉のスタッフだけでなく、そのユーザーや美作大学の学生さんなど様々な立場の人々が協働して企画運営されています。また、病気や障がいのあるなしにかかわらず、学生という「対等」な立場で参加できます。この冬、自分自身のリカバリーについて考え、ところをほっこりしてみませんか？1コマだけでも参加可能ですので、参加者お待ちしております♪

開校期間：平成30年1月15日（月）~2月5日（月）の間5日間

詳しくは、当院ホームページをご覧ください。ケースワーカーへお問い合わせください。



恒例となりました冬のイルミネーション今年も2月中旬までお楽しみください

社会医療法人 高見徳風会 希望ヶ丘ホスピタル

〒708-0052 津山市田町115
tel 0868-22-3158 (代)
fax 0868-22-3150

E-mail: kibou@tokufuu.or.jp
ホームページ
http://tokufuu.or.jp/kibou/

予約・お問合せ
電話 (0868) 22-3158 (代)